

ROPS*-BIWAKO WEB システム開発研究会

* Regional Observational Portal System

趣旨

第7期中期計画「調査解析1 琵琶湖沿岸の自然再生と生態系の現状評価」においては、滋賀県生きものデータバンクを活用し、生きものの生息状況の長期的変遷の把握を行っているところである。さらに、衛星観測情報を用いて生態系情報から生物の生息状況を把握する可能性について検討を進めており、これまで植生指数を用いた水草分布やアオコ分布の解析研究を実施してきたところである。

また、外部資金研究 SATRAPs においては「アフリカ・タナ湖における過剰繁茂したホテイアオイの管理システムの開発」を実施しており、今後の琵琶湖の生態系モニタリングにおいては、人手不足の問題もあり、管理対象水域の地域情報を衛星から自動的に集約するシステムの開発が一層必要となっているところである。

このため、本研究会においては、タナ湖で開発した Regional Observational Portal System (ROPS) の琵琶湖版を構築することを目的とし、研究者、行政関係者、一般の関心を有する者等との意見交換を通じて、実用性の高いシステムの検討を行うものである。

ROPS-BIWAKO WEB システム開発研究会

開催案内

日時

令和 8 年 2 月 17 日（火） 14 時 00 分～16 時 00 分

場所

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 2 階大会議室（大津市柳が崎 5-34）

講演

「衛星観測情報を利用した地域観測ポータルシステム

ROPS “Regional Observational Portal System”について」

[Regional Observation Portal System (ROPS) for Monitoring Aquatic Ecosystems]

創価大学教育学部・大学院理工学研究科 教授 Victor S Kuwahara 氏

「相模湾の事例、アフリカ・エチオピア・タナ湖における事例」

[Integrated Bio-optical Observations in the Coastal Water of Sagami Bay]

創価大学大学院 理工学研究科 博士前期課程 Ashenafi, Robel Milashu 氏

ディスカッション（20 分）

交流会 （30 分程度 自由参加）

参加対象

研究者、行政関係者、一般の関心を有する者

参加費

無料

申込方法

事前申込制である。参加希望者は、令和 8 年 2 月 16 日までに電子メールにて申し込むこと。

連絡先

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 石川可奈子

TEL: 077-526-4800 E-mail: ishikawa-k@lberi.jp